

2002. 6

霊性センターニュース

167号



〒611 京都府宇治市木幡御蔵山39-12

宇治聖テレジア修道院(黙想)

TEL 0774-32-7016

FAX 0774-32-7457

「食べられるものとなられた方の思い」

カルメル会

中川 博道

「もったいない」と言って、こぼれた御飯粒を口に運ぶ祖母の姿が、よみがえってくることがあります。一粒の中に宿る命。当然のことながら、私たちが毎日口にする米一粒、魚一匹、野菜一枚、果物一個などなど、どれひとつとってみても生きているものです。「自分を食べて生きてください」と「私が生きるために捧げられた命の贈り物」です。飽食の一方で、多くの人々がこのことに気づき、人生を豊かに生きておられることでしょう。

「食べ物は見捨てたりしません。食べ物は傷つけません。ダメと言いません。いつもそこにいてくれます。食べると美味しい味がします。私たちが凍えるとき、食べ物は暖めてくれ、暑い時には涼しくしてくれます。私たちの知っているものの中で、食べ物は一番愛に近いものなのです」(ジェニー・ロス『When food is Love』)

愛情において深く傷ついた人のこの言葉は、「食べること」の神秘を見せてくれます。愛に一番近いものとしての食べ物。いのちの主が人となられ、最終的にご自分の思いを託する場として、パンとぶどう酒という日常的な食物を選ばれたこと。この言葉は、自らを「食べられるもの」として差し出し続ける方の思いにいたらせま

「イエスの愛しておられた者が食事の席に着いていた。

その弟子が、イエスの胸もとに寄りかかったまま・・・」(cf. ヨハネ13:24-25)

いのちの主の思いに耳を傾ける「とき」は、何気ない「食べる」ことの中に隠されています。「食べる」、この最も具体的な行為は、いつもは見えない「イエスの心」に触れることのできる日常の接点です。

霊性センターカルメル

1. 聖書深読黙想会

(1)上野毛聖テレジア修道院（黙想）(2002年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(2)宇治聖テレジア修道院（黙想）（2002年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(3)名古屋（日比野教会）連絡：小林厚 〒465-0058名古屋市名東区貴船3-2115
TEL・FAX (052) 701-3685

*聖書深読案内：お申し込み（ハガキかFAX で上記・小林厚宛）

指導：奥村神父

期日：2002年、6月1日（土）午後5.30 ～6月2日（日）午後4.00

場所：宇治カルメル黙想の家

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山39-12

電話・0774-32-7016 / FAX 0774-32-7457

(4)大分聖テレジア修道院（黙想）

連絡：富田恵子 〒870-1125 大分市上宗方1803-3 TEL. 0975-41-4012

(5)通信聖書深読

朝日カルチャーセンター（東京新宿）が通信講座のなかに『聖書深読』を
組み入れてくださることになりました。ご希望の方は下記にご連絡ください。

連絡：小池奈津紀、東京都新宿区住友ビル私書箱22. TEL. 03-3344-2527

*「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎）。オリエンス宗教研究所出版。

定価 1000円。下記に直接ご注文下さい。3冊以上注文されれば 20%引。

オリエンス宗教研究所

FAX. 03-3325-5322

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 TEJ. 03-3322-7601



2002年 カルメル会 東京・上野毛聖テレジア修道院(黙想)

黙想会年間スケジュール

1. 信徒と奉獻生活者のための個人指導黙想会

スタッフ：星野正道師 (カルメル会)、西脇 良師 (神言会)
Sr.中川享子 (ケベックカリタス会)

- (1) 6月10日(月) 16時～19日(水) 朝食
 - (2) 10月18日(金) 16時～27日(日) 朝食
- 全期間参加の方優先ですが、二泊からの部分参加も可能

2. 奉獻生活者のための黙想会

- (1) 7月30日(火) 16時～ 8月 8日(木) 朝食 渡辺幹夫師
- (2) 8月20日(火) 16時～ 8月29日(木) 朝食 山田裕於師
- (3) 12月26日(木) 16時～翌年1月4日(土) 朝食 チプリアーノ師

3. 聖書深読黙想会

次の各土曜日の夕食から日曜日の16時30分まで

- (1) 4月20日(土)～21日(日) 奥村一郎師
- (2) 6月22日(土)～23日(日) 〃
- (3) 9月 7日(土)～ 8日(日) 〃
- (4) 11月16日(土)～17日(日) 〃

2003年

- (5) 1月25日(土)～26日(日) 星野正道師
- (6) 3月 1日(土)～ 2日(日) 奥村一郎師

4. ウェンズデイ・リトリート

スタッフ：星野正道師

「いのちの原点を見つめて」 (音楽瞑想、講話、ミサ、etc.)

- (1) 4月17日(水) 10時～16時
- (2) 5月 8日(水) 〃
- (3) 7月10日(水) 〃
- (4) 10月16日(水) 〃
- (5) 11月27日(水) 〃

5 . 奉獻生活者と信徒のための黙想会

2003年1月28日(火) 16時 ~2月6日(木) 朝食 星野正道師

6 . 特別黙想会

最初の日の夕食をすませてからの集合。どなたでも参加できます。

- (1) 6月26日(水) 20時~28日(金) 15時 新井延和師
- (2) 11月12日(火) 20時~14日(木) 15時 //

7 . 大祭日のミサにあずかるために

チェックイン午後3時から。(講話なし) チェックアウト午前10時まで

- (1) クリスマス 12月24日(火) ~25(水) 朝食
- (2) 復活祭 2003年4月19日(土) ~20(日) 朝食

8 . ユース・リトリート

若者のための ……音楽で祈る黙想会……

11月30日(土) 夕食~12月 1日(日) 16時 星野正道師

9 . 男子青年黙想会

スタッフ: カルメル会士

- (1) 5月17日(金) 20時~19日(日) 16時
- (2) 11月 2日(土) 20時~ 4日(月) 16時

以上の申込みは、カルメル会上野毛聖テレジア修道院へ。
皆さんが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355(黙想)

FAX. 03-3704-1764

上記が通じない場合は、修道院 TEL. 03-3704-2171 へお願い致します。
ただし、黙想関係の受付窓口を一つにしておりますので、電話でのお問い合わせは、なるべく午前9時~午後5時までの間にお願ひ致します。
尚、受付が休みになっている際は、すぐにお返事ができない場合もあります。その際は、恐れ入りますが、後日改めてお問い合わせ下さいませようお願ひ致します。

2002年

黙 想 会 案 内

【聖書深読黙想会】

(土曜日午後5時集合/日曜日午後4時解散)

1月19日(土)～20日(日)	奥村一郎神父担当
2月23日(土)～24日(日)	中川博道神父担当
4月20日(土)～21日(日)	新井延和神父担当
5月18日(土)～19日(日)	中川博道神父担当
6月22日(土)～23日(日)	新井延和神父担当
7月20日(土)～21日(日)	奥村一郎神父担当
9月21日(土)～22日(日)	新井延和神父担当
10月19日(土)～20日(日)	中川博道神父担当
11月23日(土)～24日(日)	奥村一郎神父担当
12月14日(土)～15日(日)	新井延和神父担当

【青年のための黙想】

(高校生以上～35歳まで)

・男性のため	5月11日(土)～12日(日)	カルメル会士
	11月 2日(土)～ 4日(月)	
・女性のため	6月 8日(土)～ 9日(日)	カルメル会士・カルメル宣教会
	11月17日(日)午前10時～午後5時	

【一般のための黙想】

・日曜の黙想	(午前10時から午後4時まで)	
	12月22日(日) クリスマス	未 定
・火曜の黙想	(午前10時から午後4時まで)	
	1月22日(火) 一年の始めに	中川博道神父
	2月19日(火) 四旬節準備	アロイジオ神父
	3月12日(火) キリストの受難	新井延和神父
	4月16日(火) 復 活	新井延和神父
	5月14日(火) 聖母マリアとともに	長岡幸一神父
	6月18日(火) イエスの御心	新井延和神父
	7月 9日(火) カルメル山の聖母マリア	未 定
	9月 3日(火) 祈りの時	北村善朗神父
	10月 1日(火) 幼きイエスの聖テレジア	アロイジオ神父
	11月 5日(火) 殉教者の霊性	新井延和神父
	12月 3日(火) 神がやってくる	未 定
・聖テレーズの黙想		伊従信子氏
	10月 5日(土)午後5時～6日(日)午後4時	
・7日間の黙想 (奉献者の参加可)		新井延和神父
	4月28日(日)～ 5月5日(日)	
・四旬節の黙想	2月16日(土)～17日(日)	中川博道神父
・待降節の黙想	12月 7日(土)～ 8日(日)	未 定
【奉献生活者の黙想】	(午後5時集合/午前9時解散)	
	7月26日(金)～ 8月 4日(日)	新井延和神父
	8月17日(土)～ 8月26日(月)	中川博道神父
	9月10日(火)～ 9月19日(木)	奥村一郎神父
	10月21日(月)～10月30日(水)	中川博道神父
	12月27日(金)～ 1月 5日(日)	九里 彰 神父

《申し込み》はがき 又は FAXにて、「氏名・住所・電話番号・(所属修道会名)」を書いてお申し込みください。

・但し、一般の「一日黙想」は電話での受付もいたします。

・一年中、個人・グループの黙想をすることが出来ます。

宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

Tel 0774-32-7016 / Fax 32-7457

修道生活、司祭生活を考える若者の集い

この修道生活、司祭生活を考える若者の集いも皆さんのご協力で小さなあゆみをつづけております。この集いは特定の修道会へのおさそいの集まりではありません。教会生活を送って行く中で今までとはちがう生き方もあるのではないかと、思っている若者がひとりぼっちでひざをかかえているのはよくない、同じように感じている仲間と出会い、ともに祈りながらあゆんで行けたら何かが見えてくるのではないかと、ということで始まりました。もし君がそんなひとりだったらぜひ来てみませんか。

*日時 次回の日程は、次号でお知らせします。 10時から16時まで

*対象 30才くらいまでの独身男女青年

*スタッフ カルメル会司祭 星野正道

*費用 1000円

*内容 主日ミサ、講話、質問コーナー、個人面談等

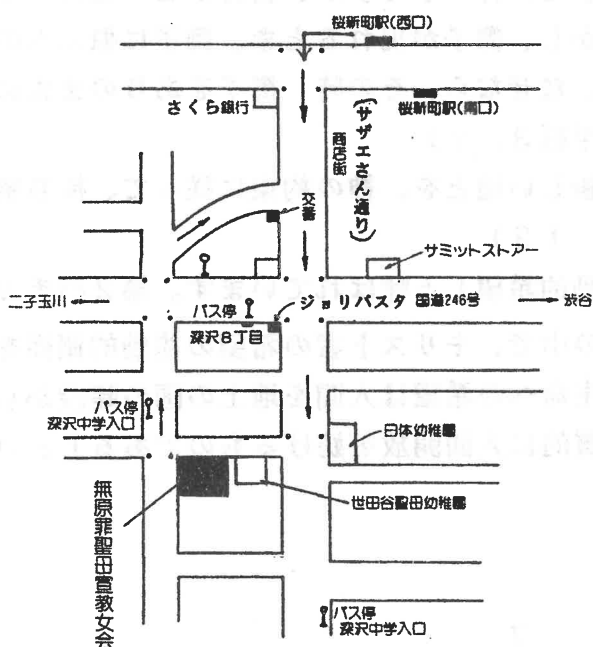
*持って来るもの 聖書、ロザリオ、筆記用具、昼食等

*連絡先 158-0093 世田谷区上野毛2の14の25 男子カルメル修道会
星野正道神父 TEL 03-3704-2171 申し込みの必要はありません。

*会場 無原罪聖母宣教女会修道院

〒158-0081 東京都世田谷区深沢8の13の16

東急田園都市線桜新町駅下車



〈地下鉄〉

⑤ 渋谷駅より
田園都市線 (二子玉川方面)
桜新町駅下車 徒歩12分

〈バス〉

⑤ 渋谷駅より 南口
18番のりば (新道経由)
二子玉川駅行 いずれも
高津営業所行 } 深沢8丁目下車
徒歩3分

⑤ 東横線都立大学駅より
成城学園前駅行 深沢中学入口下車
徒歩1分

⑤ 目黒駅より 深沢中学入口下車
弦巻営業所行 徒歩1分

無原罪聖母宣教女会
〒158-0081
東京都世田谷区深沢8-13-16
☎ 03-3701-3295

『対信徳・希望』

チプリアノ・ボンタッキョ神父

人は常に何かを希望しています。何の希望も夢も無ければ、人は生きていられないでしょう。一つの希望が、叶えられると、また別のことを希望するようになります。このようにして、人は絶えず何かを希望しているから、生きていく意欲を保ち続けることができるのです。

ところで、希望が地上的なものに限られてしまうなら、必ずすべての現世的な希望を断ち切る一つの現実にはぶつかってしまいます。その現実とは死です。この厳しい現実を前にして、すべての地上的な希望が消え去ってしまいます。

幸いに人間は死を超える輝かしい未来を神から約束されています。キリスト者は啓示によってそれを知ったので、その未来に対して不動の希望を持って生きているのです。なお、この希望が「対神徳」の中に数えられるのは、神の約束に基づくものだからです。

この希望の対象はキリストの再臨とその再臨に伴う体の復活と永遠の命です。「私たちは……神の栄光に与る希望を誇りにしています。」（ローマ書 5, 2）

「愛するものたち、私たちは、今すでに神の子ですが、自分がどの様になるかを、まだ示されていません。しかし、御子が現れるとき、御子に似たものとなるということを知っています。なぜなら、その時、御子をありのままに見るからです。」（ヨハネ第1の手紙3, 2）

「私たちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って、待ち望んでいるのです。」（2ペトロ3, 13）

さて、私たちのこの希望は「行動的希望」と呼ばれています。第2パチカン公会議は特に「現代世界憲章」の中で、キリスト者の希望の能動的側面を強調しています。それは「死後の生命への希望は人間を地上の国の建設から、わき道にそらせるものであり、本質的に人間開放を妨げるものである」という非難に応えるためでした。

「終末的希望は地上の諸活動の重要性を弱めるものではなく、かえって新しい動機によってその遂行を支えるものである。」(NO. 20)

「新しい地に対する期待は、現在のこの地を開拓する努力を弱めるものであってはならず、……かえってそれを励ますものでなければならない」(NO. 39)

やはり、キリスト教的希望は、より良い世界を造ろうという希望を持つ他の人々からキリスト者を引き離すものではなく、むしろこの世界を変容させる使命へと彼らをいっそう駆り立てるものになるはずで

2002. 4. 21

(在俗者集会講話)



『対信徳・信仰』 (3)

信仰のうちに成長する

チプリアノ・ボンタッキョ神父

わたしたちカトリック信者はみな同じ信仰を持っていますが、信仰の深さはそれぞれ違います。毎日の生活において御旨に対してどの程度“アーメン”“然り”とお応えできるかによって、その人の信仰の深さが示されます。

神はわたしたち一人ひとりの救い、また、わたしたちを通して、すべての人々の救いの業を成し遂げようと望んでおられます。毎日の生活において御旨に対して“アーメン”を応えることによってこの神の計画の実現が可能になります。

使徒パウロが言うように、人類贖いの計画も、イエスが御旨に対して常に“然り”となったお陰で実現できたのです。

「わたしたちが…あなたがたの間で、述べ伝えた神の子イエス・キリストは“然り”と同時に“否”となったような方ではありません。この方においては、“然り”だけが実現したのです。神の約束はことごとくこの方において“然り”となったからです。それで、わたしたちは神をたたえるため、この方を通して“アーメン”と唱えます」(2コリント1,19-20)

つまり、上に述べたように、人類贖いの計画に対して主イエスは常に“アーメン”“然り”となることができたのだから、人類贖いの計画が実現することができたのです。

わたしたちの信仰も神に対していつも“然り”と応えることができるころまで成長していかなければならないものです。もちろんそこまで到達するには、祈りは当然のこと、忍耐強い努力も必要となります。

わたしたちは、み旨が犠牲を求めてくるときは、それに対して心配と不安にかられて、できることならそれを避けて通りたいと思ってしまいます。求められる犠牲は大きければ大きいほど“然り”となることがますます困難になるのです。

イエス様も、ゲッセマネで祈る姿(マルコ14,32～、ルカ22,39～、マタイ26,36～参照)を見ると、やはり“然り”となることに対して大きな困難を体験されたことがわかります。そういうときもイエスのように、「み心にかなうことが行われますように」(マルコ13,46)と祈れることは深い信仰の

力によることです。

使徒パウロはこのイエス様の姿を常に見つめるように勧めています。

「わたしたちも…自分に定められている競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか。信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。このイエスは、ご自身の前にある喜びを捨て、恥もいとわないで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです」(ヘブライ人12, 2)

その生涯の夕べに、パウロは自分の歩みを振り返ったとき、次の言葉を書き残しました。

「わたし自身は、すでにいけにえとしてささげられています。世を去るときが近づきました。わたしは戦いを立派にたたかいぬき、決められた道を走り通し、信仰を守り抜きました」(2 テモテ4, 6, 7)

神から定められた道を走り通すことができるようになるまで、わたしたちも信仰を深めていきたいと思えます。

2002. 3. 17

(在俗者集会講話)

【お詫び】

5月号の在俗者集会講話(3月)の21行目が1行抜けておりました。大変申し訳ございません。お詫びいたします。今月号に再度、全文掲載いたしました。

(在俗者会)

2002年度 東京カルメル在俗者会 黙想会

場 所 カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

日 程

ご指導

- ・ 5月31日(金)夕食 ~ 6月 3日(月)昼食 チブリアノ神父様
- ・ 8月12日(月)夕食 ~ 8月15日(木)昼食 アロジオ神父様
- ・ 9月28日(土)夕食 ~ 10月 1日(火)昼食 星野 正道神父様
- ・ 11月21日(木)夕食 ~ 11月24日(日)昼食 チブリアノ神父様

☆空きがある場合には、一般の方も参加できます。おたずねください。

☆お申込み、お問合わせは下記まで

TEL・FAX 03-3892-1378(阿部 昌子)



… 主の御手のもとに生きる …

エディット・シュタインのメッセージ

—JUNE—

愛のこもった自発的な委託によって神に属することと、神に仕えることは、選ばれたわずかの一人だけの召命ではありません。それは、司祭に叙階された者であるかどうか、また男性であるか女性であるかにかかわらず、すべてのキリスト者の召命です。私たち一人一人は、キリストに倣うことに呼ばれているのです。

地上におけるすべての堅固な生活の構造がぐらつき変化しつつある今の時代は、また、永遠の問いをめぐる戦いのときでもあります。私たちは熱烈に神を求めます。すべての修道共同体が強められ、生き返るよう、私たちは奮闘しています。完全に信仰によって生き、主への奉仕にすっかり自分を捧げ尽くすことを、私たちは望んでいます。

教会はこの世における神の国であり、すべての地上のものが経る変化を考慮に入れなければなりません。教会は、あらゆる時代に、その時代のあり方を受け入れ、その時代の特別な性質に従ってそれを扱うことによって、永遠の真理と永遠の生命を早めにもたすことができるに過ぎません。

愛を含めて神に自分を委ねるためには、私たちは、神を愛人として知るようにならなければなりません。そして、神だけが、このようにご自身を私たちに表すことがお出来になるのです。

キリストの受肉と教会——祭壇において執行される聖体の秘跡——の概念は、切り離すことの出来ないほど密接にかかわりあっています。キリストにおいて、神は全時代にわたって人類の中に目に見える形で住まわれるために、触れることの出来る姿をとって下さったのです。

すべてのことは、愛にかかっています。なぜなら、おわりのときに私たちは愛によって裁きを受けるのですから。

私の存在において、私は私自身とは異なるもう一つの存在と出会います。それは私の存在に土台と支柱を与えてくれるものですが、それ自身は土台も支柱もなしに存在しています。

神が、創造主として、また存在を支えて下さるお方として、ご自身を表されるとき、そして贖い主が「子を信じる者は永遠の生命を持っている」と言われるとき、これらは、私自身の存在のなぞを完全に解き明かす答えとなります。

神の生命は愛——満ちあふれ、要求を強いることのない愛——です。それは、自分自身を自由に与える愛、病んでいるものを癒し、死んでいるものを生き返らせる愛、保護し、世話し、養い、教え、形作る愛、悲しむ人とともに悲しみ、喜ぶ人とともに喜ぶ愛、すべての存在が、御父が定められた姿になれるよう仕える愛なのです。一言で言えば、神のみ心の愛です。

人は、自分が知っているよりもずっと多くの可能性を持っています。これは、恵まれたことです。なぜなら、それが必要となったとき、それを利用出来るようになりますから。

私たちの生涯の中に表された、神の御摂理の驚異的かつ神秘的な実例を思い起こすとき、私は何度も何度も、感謝の念に満たされます。

神のいつくしみが、目に見える教会の限界に縛られているとは、私は決して考えたことがありません。

靈魂はキリストと一つとなり、彼の生命によって生きることが出来ます。けれどもそれは、十字架に釘付けられたお方に身を委ねることにおいてのみ、そして、そのお方とともに十字架の道行きを歩み抜いたときのみ、可能なのです。それが、聖パウロのメッセージです。十字架についての彼の知識は、彼自身の体験から生じたものです。

私の存在の土台と原因は、人間のように造られたものではなく、造られざる源にほかなりません。すべての有限なる存在のそれも同様です。それは、本質的に、それ自身で存在しなければならないものです。そして、全被造物とは異なり、存在したりしなかったりするようなことはあり得ない存在、不可欠の存在なのです。

* * * * *

この記事は、ケルン・カルメル会の Sr. マリヤ・アマータ・ナイヤーが編集し、聖女エディット・シュタインの姪に当たるスザンヌ・バツドルフさん（米国カリフォルニア州在住）が英訳された An Edith Stein Daybook: To Live at the Hand of the Lord (Templegate Publishers, Springfield, Illinois, U.S.A.) の中から、出版社の許可を得て、抜粋・邦訳したものです。

エディット・シュタイン（十字架の聖テレジア・ベネディクタ）略歴

1891年10月12日にプレスラウにユダヤ人として生まれ、1922年1月1日にベルクツアーベルンのカトリック教会で洗礼を受けた。フッサールの門下生として、哲学、女子教育の分野で活躍した後、1933年10月14日にケルンの跣足カルメル会に入会、十字架のテレジア・ベネディクタの名を受ける。1938年末、ナチの迫害を逃れてオランダのエヒト・カルメル会修道院に移るが、1942年8月2日、ナチに逮捕され、同年8月9日アウシュビッツにて殉教の死を遂げる。1987年5月1日教皇ヨハネ・パウロ二世により列福、1998年10月11日、同教皇により列聖。1999年10月1日、シエナの聖カタリナ、スウェーデンの聖ビルジッタと共に、ヨーロッパの保護者と宣言される。

(西宮カルメル会 訳・編)

断 想 (170)

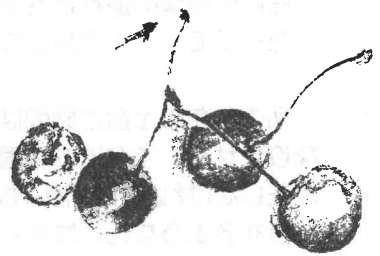
あの人も この人も わたしも

金子みすずさんの美しい詩が聞こえてくる

私が 両手を ひろげても
お空は ちっとも飛べないが
飛べる小鳥は わたしのやうに
地面(じべた)を 速く走れない

私が からだを ゆすっても
きれいな音はでないけど
あの鳴る鈴は わたしのやうに
たくさん唄を知らないよ

鈴と 小鳥と それから私
みんなちがって みんないい



人は、違うことを嫌う。考えが、意見が、思想が、好み合わないと仲間割れになる。

宗教の違いは、もっときつい。「我が家尊し」で譲らない。ひどくなれば、宗教テロさえ引き起こしかねない。少し前にはイスラエルにおいて、イエスの「聖誕教会」が殉教テロによって破壊された。人を救うためには、自分流の神の名において人を殺さなければならない、というような、恐るべき矛盾があってよいのだろうか。嗚呼!?

昼と夜、太陽とお月様、天と地と人、皆、違っていればこそ仲良く一緒に生きている。「生死一如」という黄金のような言葉さえあるのに。神が人になってくださって、人に殺されたというキリストの愛とは、一体、なんであったのか?私には分からない。

ヘンリ・ナーウエンの『旅路の糧』(45)

● 霊の力

イエスの内に、イエスを通して、私たちは神を、無力な神、私たちに依存する神として知るようになります。けれども神の力が現われるのは、まさにこの無力さの中なのです。それは、人々をコントロールし、指図し、命令する力ではありません。それは、人々をいやし、和解させ、結びつける力です。それが、霊の力なのです。イエスが現われた時、人々は彼に近づき、彼に触れようとしてきました。「力が彼から出ていた」(ルカ6:19)からです。

イエスが私たちに与えようと望んでおられるのは、この神の霊の力です。霊は、実際、私たちを力で満たし、人々にいやしをもたらす存在とするのです。私たちがこの霊で満たされる時、私たちは人々の心のいやし手以外の何者でもないのです。

(0607)

話すことができるようになること

イエスがくださる霊は、私たちを人前で話すことができる者とします。しばしば、人前で話すことが求められると、私たちは神経質になり、自意識過剰になります。しかし霊の内に住むならば、何を言うべきか悩む必要はありません。私たちは、必要があれば、話す準備ができている自分を見出すのです。「権力者の所に連れて行かれた時は、どのように自己弁護し、何を言うべきかなどと心配してはならない。何故なら、その時が来れば、聖霊が言うべきことを教えてくれるからだ」(ルカ12:11-12)。

私たちは、いろいろ気をもみ、そのために多くの時間を費やしています。イエスのくださる霊が、私たちの内で語るということ、それももつとも適切に語るということを守り信じていきましょう。

(0608)

九里 彰訳

私たちと共におられる神

わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。

(マタイ28・20)

イエスの生涯を語るマタイ福音書では、最初のところで、イエスは「インマヌエル」(*1)、「私たちと共におられる神」と記されています。そして福音を締めくくるのは、天に帰られた後もいつも私たちと共におられる、と約束されたイエスの言葉です。イエスは、世の終わりまで、私たちと共にいてくださる神です。

今月のみ言葉は、イエスが、全世界に行って福音を告げ知らせる使命を弟子たちに与えた後で、言われたものです。弟子たちを派遣するのは、狼の群れに羊を送るようなものであり、彼らが反対や迫害に出会う(*2)ことも、イエスはよくご存じでした。そこでイエスは、宣教の使命を果たす弟子たちと共にいてあげたいと望まれ、まさに世を去ろうとされた時に、残ることを約束されたのです。弟子たちは、この目でイエスを見ることも、声を聞くことも、触れることもできなくなりましたが、イエスは前と同じく、いえ前にもまして、弟子たちの間にいてくださいます。実際その時までイエスは、湖や山、カファルナウムやエルサレムなど、一定の場所にだけ存在されたとすれば、これからは、弟子たちのいる所ならどこでも、共にいてくださるのです。

イエスは、煩雑な日々の生活を送る私たち皆のことも、心にとめてくださいました。彼は、愛そのものが受肉された方ですから、次のように考えられたことでしょう。「私は、いつも人々と共にいてあげたい。彼らのあらゆる心配を分かち合い、アドバイスしてあげたい。彼らと共に道を歩き、家に入り、私が共にいることで、彼らに再び喜びを与えてあげたい」と。

それゆえイエスは、私たちと共にとどまることを望まれました。イエスがそばにいてくださること、彼の力と愛を、私たちが感じられるようにです。

ルカ福音書では、イエスが天に上るのを見た後、弟子たちは「大喜びでエルサレムに帰った」(*3)と記されています。なぜ彼らは、そのように喜ぶことができたのでしょうか。イエスのみ言葉が真実であることを経験したからでしょう。

私たちも、次のようにイエスが約束されたことを本当に信じるなら、喜びに満ち

あふれるでしょう。

わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。

これは、弟子たちに向けられたイエスの最後の言葉であり、彼の地上での人生を締めくくるものですが、同時に、教会の始まりでもあります。イエスは教会の中で、多くの形をとって存在されます。ご聖体の中、み言葉の中、司教様や司祭方の中、貧しい人、小さな人、疎外された人々の中、そしてすべての隣人の中に、イエスはおられます。

中でも、私たちは、ある特別なイエスの存在を、特に大切にしています。イエスご自身がマタイ福音書の中で、「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる」(*4)と言われたことです。これによってイエスは、どんな場所にも存在されます。

イエスの命じられたことを実践し、特に彼の新しい掟を生きるなら、私たちは教会の外にいて、一般の人々に囲まれ、普通の世の中にも、どこでも、イエスの存在を経験できるでしょう。

私たちに求められているのは、相互の愛、相手に仕え、理解する愛、兄弟の苦しみ・心配・喜びを共に分かち合う愛です。すべてを覆い、すべてをゆるす、キリスト教の特徴と言える愛です。

すべての人が、すでにこの地上でイエスと出会うことができるよう、私たちもこの愛を生きるよう努めましょう。

キアラ・ルービック

*1 マタイ1・23参照

*2 マタイ10・16～22参照

*3 ルカ24・52参照

*4 マタイ18・20参照

フォコラーレ本部

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-11-4

TEL. 03-5370-6424

FAX. 03-5370-3055

フォコーレ

つどいのご案内

若葉の美しい季節となりました。皆様いかがお過ごしですか？

今回は、すでに日頃さまざまなフォコーレの集いや、グループに参加されている皆様とより家族的な一致を育むことができると、下記のような集いを計画いたしました。

お互いの中で愛と一致を一層深めるひとときを過ごしたいと思いますので、皆さまのお出でを心よりお待ちしております。

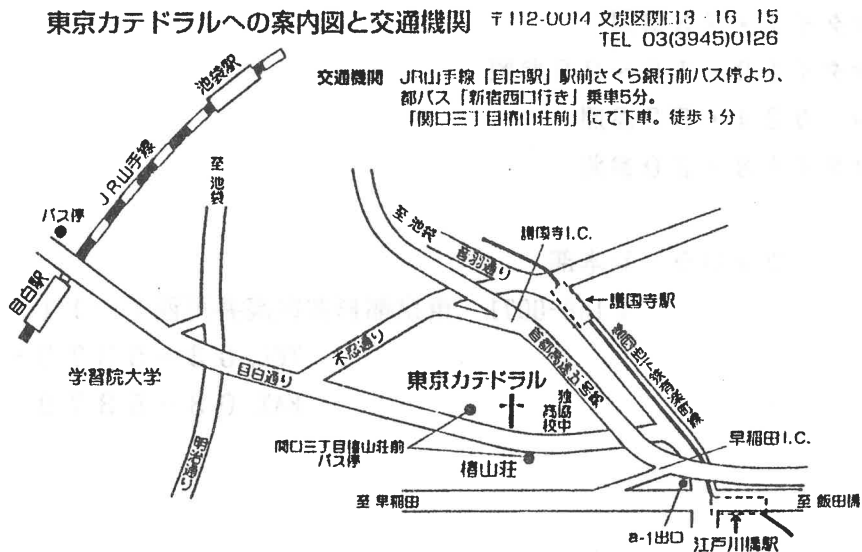
日時：2002年6月9日（日）13時 受付
13時30分 プログラム開始
16時30分 プログラム終了

- * プログラムの中では、ミサはありません。
- * カテドラルでは 10:00（大聖堂）・12:00（地下聖堂）にミサがあります。

場所：ケルンホール（東京カテドラル構内）
東京都文京区関口3-16-15（下地図参照）

連絡先：女子フォコーレセンター
〒167-0052 東京都杉並区南荻窪2-10-15
Tel：03-3332-8460 03-3247-9122

男子フォコーレセンター
〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-19-9
Tel：03-3399-5508 03-5370-6424



すばらしいとき

皆さんは、生涯忘れられない「素晴らしい時」を贈られたことがあるでしょうか。

「今日はぜったい素晴らしい時を過ごさせてあげたい！」これは、大学の卒業式の朝、友達のTさんが、私の為に言ってくれた言葉です。Tさん一家は、当時留学していた私が、とても仲良くしていたカトリックの一家でした。孤独な外国人の私を、いつも温かく迎え入れてくれました。卒業式に、日本の両親は来られなかったのですが、代わりにTさん一家が列席してくれることになったのです。

白百合の花束、写真撮影、美味しいごちそう、笑顔、そして何よりも、その晩に皆で与った感謝の御ミサ。同じ信仰を持った友達が、共に祈り、祝ってくれる有難さ。本当に「素晴らしい時」を、Tさんは私に贈ってくれました。

ところが、愛するTさんは、この幸せな日の三日後に、まったく突然亡くなってしまったのです。たった三日の間に、人生最良の時と最悪の時の両方を、私は味わいました。「神様どうして？」と心の中で叫びました。悲嘆に暮れるTさんの家族を支えることで精一杯で、一体どうやって自分の心を癒したら良いか、私には分かりませんでした。

Tさんの死後二、三ヶ月立って、彼女の夢を見ました。夢の中で彼女は言いました。「貴女をルルドに連れて行ってあげるわよ」と。生前、彼女はルルドを度々訪れていました。一度も行ったことがない私に、「ルルドへ行かせてあげたい」とよく言っていたので、それが私の心に残り、夢に出て来たのかもしれないと思いました。ルルドへは、飛行機でわずか二、三時間の距離でしたが、私は、ルルドへの旅費などとても支払えない貧乏学生だったのです。どう考えても、ルルド巡礼は、私にとって非現実的な夢でした。

でも、こんな夢を見たひと月ぐらい後だったのでしょうか。私は、ルルドへ行くのに必要な旅費を全額、偶然にも手にすることになってしまいました。そして、その年の十二月八日、無原罪の御宿りの大祝日を、ルルドで祝うお恵みを頂いたのです。Tさんは、深く傷ついた私の癒しのために、天国でマリア様に取り次いでくれて、「素晴らしい時」を、もう一度贈ってくれたのだと、信じてはいけませんか？

「私は私の天国を地上に善を行うことに使いたいと思います。」(小さきテレーズ)

丸山知佳子

(21)

蛭田幼一

一九九八年八月三十日

僕らが詩を書くというとき、そのときの「詩」はまあ言わば窓だな。僕らは「窓」を作るに過ぎないな。詩はその窓からときおり吹き込んでくる風だ。きみが「詩は出会いだ」というのはそういうことだろう。そういうふうには理解すれば、自分の詩に全然感興が湧かなかつたり、伊東静雄の詩を初めて読むような気がしたりする理由がわかる。僕らは只窓を作るのであって、どうしたらその窓から風が吹き込んでくるのか、それややはりわからないよ。



諸所の企画についてのご紹介

ノートルダム・ド・ヴィ

場 所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-35 Tel(03)3594-2247

*いのちの泉へ -カルメルの霊性に学んで、祈りの道を歩みたい人々のための祈りの集いです。若い方々のための祈りと信仰生活の基礎についてのグループ。

お子様連れの方は、集いの間（3歳～12歳程度）のお子様をお預かりします。

2002：6月15日（土）ミサと信仰生活

講話：伊従信子・片山はるひ（ノートルダム・ド・ヴィ会員）

プログラム：第一部 午後2時から 講話、祈り、お茶&分かち合い

第二部 午後5時から ミサ、夕食、祈りの夕べ（8時頃終了）

参加費：一部のみ200円・二部までは500円

申し込み：電話(18:00-21:30)・Fax(03)3594-2254またはTel(03)3594-2247まで
詳細は電話でお尋ね下さい。電話（18時～21時30分）

スズランハウス

女性のアルコール依存症、やせ症、摂食障害の経験者とその家族のためのウェルビーイングを研究開発実践する施設。：詳細を知りたい方は、下記へ

〒192-0041八王子市中野上町4-27-4 TEL 0426-28-3222 井口 貴志

風 の 家

指 導：井上 洋治 師（東京教区司祭）

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-17-23-903 TEL 03-3204-4453

山根 道公 機関誌『風』編集者

*新住所 〒700-0808 岡山市大和町1-11-17

Tel・FAX 086-227-5665 詳細はお電話でお尋ね下さい。

生命山カトリック別院

〒865-0133熊本県玉名郡菊水町蜻浦1391-7 TEL.0968-85-3100

黙想会 指 導 フランコ神父

*ご聖体の神秘と茶道

祈りの集い 指 導：シスター マリア、フランコ神父（10:00～15:00）

*年間 テーマ「キリストに出会った人々」

2002. 5/9. 6/13. 9/12. 10/10. 11/14. 12/12 （木）

研修会 テーマ 「宗教対話の霊性」 フランコ神父

2002. 5/31（金）16:00- 6/2（日）14:00

宗教対話活動 熊本地区宗教対話研修会グループ

2002. 6/16（日）、10/6（日）

このほか、個人、グループでも静修、黙想会などができます。（宿泊8名迄可）

ご相談ください。申し込み。TEL0968-85-3100 FAX0968-85-3186

瞑想の家 東 光 庵

指 導：ヨハネ・ウマンス師（神言会） *詳細問い合わせは電話で

場 所：〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷1-38-13 TEL 03-3336-0735

マリアの御心会

場 所：〒160-0012東京都新宿区南元町6-2 TLE.03-3351-0297

1. 聖書深読黙想会 : 毎月第二日曜日 対象: どなたでも
2. 詩編: 毎月第一火曜日 (第一火曜が祝祭日に当たった場合は第二火曜日)
3. ヨハネ福音書: 五月で詩編が終わり、六月よりヨハネ福音書に入ります。同じ第一火曜日です。ご自由にご参加下さい。
4. 祈りの集い : 毎月第三土曜日 18:00~20:00.
5. 「来てみなさい」結婚、修道生活、独身生活を選定したい方、自分の人生について考えたい方

対象: 20代、30代の未婚女性 参加費: 500円 (弁当持参)

(10:00~16:30)ミサあり。

指導: ベルナルド・アステイゲタ師 (イエズス会)

* 毎月指導者が変わります。お問い合わせ下さい

5/26. (日) 自然を味わう

7/30. (日) 主よ、どこにお留まりですか。(ヨハネ1:38)

* 8/2. (金) ~ 8/4 (日) (黙想会) 長野富士見高原マリアの家

9/29 (日) わたしは道、真理、命である (ヨハネ14:6)

10/27 (日) これがあなたの母です (ヨハネ19:27)

11/24 (日) イエスの渇きをいやす

12/15 (日) すべてにおいて神を見出だす

2003. 1/26 (日) わたしはもうあなたたちを僕とは呼ばない、友と呼ぶ

2/23 (日) 何でもこの方の言う通りにして下さい (ヨハネ2.5)

3/23 (日) 彼らをこの世から取り去ることなく悪から守って下さるように、と、私は願います (ヨハネ17.15)

聖心会黙想の家

場 所：〒410-1126静岡県裾野市桃園 198 Tel&Fax. 0559-92-2120

祈りの集い (問合せ・申込は聖心黙想の家まで電話/FAXで!)

● 午後のひととき、静かに過ごしてみませんか?

黙想会のお問い合わせ・お申し込みは: 165-0033東京都中野区若宮3-9-4

若宮共同体 TEL.03-3337-3291

『心のいほり。内観瞑想センター』代表 藤原直達神父 (大阪教区司祭)

〒572-0001 大阪府寝屋川成田東町3-27

* TEL/FAX 072-802-5026 携帯 090-2401-9374

* 活動内容。定期的に各地で内観黙想の同行指導と講演。日本的な瞑想法と、自己発見、癒しの方法としての内観瞑想の普及。同行司祭は藤原神父です。

* 希望者は手紙かファックスで問い合わせてください。電話では取り次いでおりません。

2002. 5/27~6/2 岩手盛岡・6/9~6/15 兵庫宝塚売布

・ 6/23~6/29 京都竜安寺前

7/7~7/13 兵庫生野 ・ 7/20~7/26 兵庫宝塚売布

7/27~8/1 横浜戸塚 8/4~8/10 神奈川茅ヶ崎

詳細は電話でお尋ね下さい。

三位一体の聖体宣教女会 東京修道院

場 所：〒189-0003東村山市久米川町1-17-5 TEL. 042-393-3181 FAX 042-393-2407

黙想会「聖書で祈る」

申し込み先……

指導：雨宮 慧師（東京教区司祭） 対象：一般信徒
2002, 2月23日（土） 5:30pm ~ 24日（日） 4:00pm 終了
6月29日（土） " ~ 30日（日） "
10月5日（"） " ~ 6日 " "
2003, 2月22日（"） " ~ 23日 " "

召命を考える祈りの集い

指導：星野正道師（カルメル会） 対象：女子青年信徒
2002, 2月10日（日） 5:30pm ~ 11日（月） 4:00pm 終了
4月29日（火） 10.00AM ~ 5.00PM 終了
9月23日（月） " "
11月23日（土） " "
2003, 2月11日（火） " "

黙想会

指導：星野正道師（カルメル会） *対象、一般信徒

2002, 5月28日（火） "

* 10月29日（火）を 10月28日（月）に変更

年の黙想会

指導：星野正道師 *対象、修道女

2002, 7月23日（火） 5:30~7月31日（水）朝食後解散

指導：奥村一郎師（カルメル会） *対象 修道女

2002, 12月26日（木） 5:30PM~2003.1月4日 朝食後解散

聖書に親しむ集い

講師：シスターマグダレナ・トレス・アルピ 対象：信徒

テーマ：聖書と教皇様の新千年期の指示」交わりの霊性（コムニオの霊性）

日時：2002.1から*毎月最終木曜日 2:00Pm ~ 3:30Pm *（7.8.12月はお休み）

キリスト教講座（カトリックの教えを学びたい方）毎木曜日 10:00am. ~11:30am.

十字架の使徒職の集い

*対象：信徒

洗礼よる司祭職に生き、司祭のために祈る

期 日：第一グループ 毎月第2金曜日（2:00Pm. ~3:30Pm.）

第二グループ 毎月第1木曜日（2:00Pm. ~3:30Pm.）

両グループ*司祭のために聖体礼拝を捧げます（1:30Pm~200Pm）

リーゼンフーバー研究会案内
2002～2003年

キリスト教入門講座 金曜日 18時45分～20時30分 聖イグナチオ教会信徒会館アルペホール
どなたでも。聖書に基づきキリスト教の基本テーマを取り扱います。

キリスト教理解講座 毎月第1・第3火曜日 18時40分～20時30分 聖イグナチオ教会信徒会館アルペホール。キリスト教の基礎知識を持っている方。2年間のコース。信仰理解と信仰生活の深まりを目的とし、キリスト教の中心的テーマを探究します。

聖書研究会 木曜日 12時40分～13時25分 上智大学7号館316号研究室
学生のどなたでも。新約聖書を1章ずつ読んで話し合います。

坐禅会 ●月曜日 17時20分～20時10分
●木曜日 18時～20時30分
上智大学内 Kultour ハイム 1階左の部屋 3回坐り、間に講話があります。
どなたでもどうぞ。初心者も歓迎です。遅刻、不定期の参加も可。

接心



● 4月29日(月)20時30分～5月6日(月)16時
6月14日(金)20時30分～16日(日)16時 } 秋川神冥窟
8月10日(土)20時30分～17日(土)16時 } 1泊2400円程度
11月1日(金)20時30分～5日(火)16時 }
2003年3月15日(土)8時30分～16日(日)16時 } 上石神井5400円
● 5月11日(土)13時～12日(日)16時 }
8月2日(金)17時30分～8日(木)13時 } 宝塚市

ミサ 水曜日 17時10分～18時 上智大学内 Kultour ハイム 1階右小聖堂
どなたでも。(8月を除く)

黙想 ●「会社帰りの黙想」毎月第2・第4火曜日 18時45分～20時
聖イグナチオ教会マリア聖堂 どなたでも。
但し、8月には21日(水;上智大学内 Kultour ハイム 聖堂)のみ。12月24日休み。
●水曜日 18時～18時30分 上智大学内 Kultour ハイム 1階右小聖堂
どなたでも。(8月を除く)

祈りの集い 下記の土曜日 13時30分～16時 上智大学内 S.J.ハウス第5会議室
講話、黙想、ミサがあります。
4月13日、5月18日、6月1日、7月13日、8月10日、9月7日、10月5日、
11月16日、12月7日、2003年1月18日、2月22日、3月8日

黙想会 6月29日(土)10時～30日(日)15時、8月23日(金)夜～29日(木)13時、
9月28日(土)10時～29日(日)15時、11月30日(土)10時～1日(日)15時、
2003年3月1日(土)10時～2日(日)15時
1泊4400円程度

アガベ会 説明会と集い 下記の日 13時30分～ 20代～40代の信者
4月14日(日)、6月23日(日):上智大学カトリックセンター
10月12日(土)、2003年1月25日(土):S.J.ハウス第5会議室

クリスマス会 12月21日(土)16時30分～ 上智会館5階第6会議室 要申し込み
ミサ 12月23日(月)14時～ 上智大学内 Kultour ハイム 聖堂

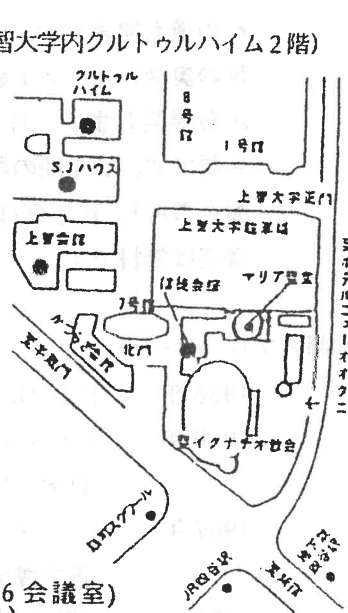
問い合わせ連絡先 クラウス・リーゼンフーバー神父 (上智大学文学部哲学科教授)
〒102-8571 千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J.ハウス
電話 03-3238-5124(直通)、5111(伝言)、FAX 03-3238-5056

リーゼンフーバー神父 キリスト教入門講座 2002～2003年

日時 毎週金曜日 18時45分～20時30分
 場所 聖イグナチオ教会（四谷駅前）信徒会館 3階 アルベホール

各回のテーマ

- 4/5 信仰の道—人生の意味を問う
- 4/12 人生の道しるべ—聖書に信仰を求めめる理性
- 4/19 人書の間像—人間の現状と使命
- 4/26 旧約聖書の神体験—聞くことと見ること
- 5/10 神認識の道—理性と経験を通して
- 5/17 創造された世界—人間存在の根拠と自然の意味
- 5/24 歴史と信仰—神と人間との出会い
- 5/31 新約聖書の神理解—主なる父
- 6/7 祈りによる神理解—神の偉大さと近さ
- 6/14 救い主の役割—人類の待望
- 6/21 神の国—イエスの告げメッセージ
- 6/28 イエスの生き方—神に遇われて人に仕える
- 6/29-30 ●黙想会
- 7/5 イエスの人間関係—罪人と弟子と共に
- 7/12 イエスは誰か—イエスの自己理解
- 7/19 最後の晩餐—自分を与えるイエス
- 7/26 イエスの受難—その史実と意図
- 7/27 ミサ（14時、上智大学内 Kulturlハイム 2階）
- 8/2 ○休み
- 8/9 イエスの死—その救済的意味
- 8/16 ○休み
- 8/23 イエスの復活—今に生きるイエス
- 8/30 聖書のイエス像—ヨハネの見たイエス
- 9/6 聖霊—神の愛に導かれる
- 9/13 祈りの本質とさまざまに祈り方—神と関わる
- 9/20 洗礼との堅信—イエスに結ばれて生きる
- 9/27 教会の成立と意味—イエスを中心に集う
- 9/28-29 ●黙想会
- 10/4 人間としてのイエス—新しい人間像の基礎付け
- 10/11 御子としてのイエス—イエスの神との関係
- 10/18 父と子の聖霊—神の生命に与る
- 10/25 信仰の決断—支えられて生きる
- 11/1 ミサの祭儀—神への奉仕と生活の糧
- 11/8 自己実現と神の意志—生き方の規範
- 11/15 人間の弱さ—罪とは何か
- 11/22 恵みとゆるし—神の憐れみを受ける
- 11/29 愛の心—キリスト教の本質
- 11/30-12/1 ●黙想会
- 12/6 隣人愛—他人の内—イエスに出会う
- 12/13 希望を—持つ—勇気—未来に向かって歩む
- 12/20 霊の動き—福音による生き方
- 12/21 クリスマスのミサとパーティー（上智会館 5階第6会議室）
- 12/23 ミサ（14時、上智大学内 Kulturlハイム 2階）
- 1/10 聖書と教会—信仰の基盤になる言葉
- 1/17 秘跡と教会生活—毎日を養う信仰
- 1/24 神の言葉—神との日常的な対話と黙想の仕方
- 1/31 結婚と独身—愛の道
- 2/7 信徒・司祭・修道者—誰もが召されている
- 2/14 仕事という人間の課題—社会に寄与して働く
- 2/21 人間の苦悩—悪とは何のためか
- 2/28 死—その実現と克服
- 3/1-2 ●黙想会
- 3/7 人生の完成—神の内に生きる
- 3/14 世界の聖化—多様な形で働きかける恵み
- 3/28 聖母マリア—信じる者の原型
- 3/29 感謝のミサ（14時、上智大学内 Kulturlハイム 2階）



リーゼンフーバー神父 キリスト教理解講座

2002～2003年

日時 毎月第1・第3火曜日 18時40分～20時30分
場所 カトリック麹町聖イグナチオ教会 信徒会館3階アルペホール
電話 03-3263-4584
JR 中央線・総武線・地下鉄丸の内線・南北線 四谷駅徒歩1分

対象 キリスト教についての基礎知識を持ち、信仰をより深く考えたい・理解したい・生きたい方はどなたでも歓迎です。

内容 人生を支える信仰の力と豊かさを発見するために、キリスト教の内容を包括的かつ徹底的に知るよりも優れた道はないでしょう。本講座ではキリスト教のキー・ワードを手がかりとし、信仰の中心的な諸テーマを解明することを通して、その基盤と意味を探求し、理論的理解を深めるとともに信仰生活に指示を与え、充実した祈りへの道も開きます。現代の問題意識を常に背景にしながら、聖書を元に、古代と中世の奥深いキリスト教思想を参考にして、信仰を人間論的・神学的・哲学的な観点から展開します。専門的な知識は前提されませんが、入門講座程度の基礎知識は必要です。2年間の計画になっていますが、本年度は信仰の内容に重点を置き(裏面を参照)、次年度は信仰の実践を取り扱う予定です。途中参加・部分参加も可。講座は無料です。

講師のプロフィール

1938年 ドイツに生まれる
1958年 イエズス会入会
哲学・神学を学ぶ
1967年 ミュンヘン大学卒業
哲学博士 (Ph.D.)、同年来日
1971年 司祭叙階
1989年 神学博士
現在 上智大学文学部哲学科教授・上智大学中世思想研究所所長
元放送大学客員教授

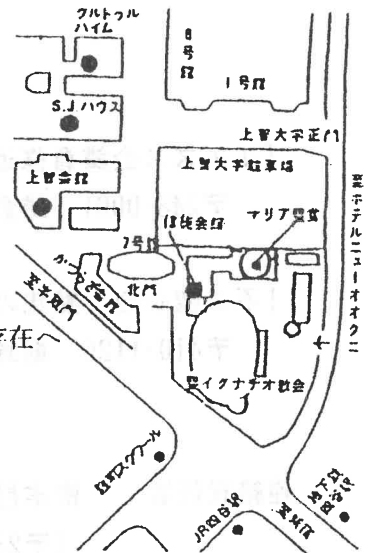


連絡先 クラウス・リーゼンフーバー神父
〒102-8571 千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J.ハウス
電話 03-3238-5124(直通)、5111(伝言)、FAX 03-3238-5056

日時 毎月第1・第3火曜日 18時40分～20時30分
 場所 聖イグナチオ教会 (四谷駅前) 信徒会館3階 アルペホール

今回のテーマ

- 4/2 【人間】 神の似姿 — 有限的実存の尊厳
- 4/16 理性と超越 — 知識と信仰
- 5/7 自由意思と善 — 根本決断と負い目
- 5/21 時間と永遠 — 歴史における意義
- 6/4 【神】 無限への問い — 理性による神認識
- 6/18 世界の根源 — 神存在の確認
- 6/29-30 ●黙想会
- 7/2 人格の目標 — 神経験の多様な形
- 7/16 「私は在る」 — 「彼」と「汝」としての神
- 7/27 感謝のミサ (2pm 上智大学内 クルトウルハイム2階)
- 7/30 【人間への神への関わり】 神の創造的自由 — 世界に向かう神
- 8/6 ○休み
- 8/20 自らを現す神 — 啓示の可能性と史実 (上智大学内 クルトウルハイム2階)
- 9/3 神の語りかけ — 神の言葉の諸次元と聖書理解
- 9/17 将来への導き — 自立した世界の中の摂理
- 9/28-29 ●黙想会
- 10/1 【イエス】 史的イエス — 活動と生き方の特徴
- 10/15 神の国 — イエスの使信の新しさ
- 11/5 受難による救い — イエスの救済的役割
- 11/19 死からの命 — 復活の認識・経験・理解
- 11/30-12/1 ●黙想会
- 12/3 【聖霊】 神の内的現存 — 人間における聖霊の働き
- 12/17 三位一体の神 — 救いの構造から神内の存在へ
- 1/7 御子の受肉 — 神の子と人の子
- 1/21 信仰者の共同性 — 教会の本質
- 2/4 【教会】 教会の構造 — その起源と機能
- 2/18 キリスト者の一致 — 分裂と和解
- 3/1-2 ●黙想会
- 3/4 しるしとしての教会 — 社会における信仰者の課題
- 3/18 母なる仲間 — 信者と教会の原型マリア
- 3/29 感謝のミサ (2pm 上智大学内 クルトウルハイム2階)



聖書深読黙想会日程

	〈月 日〉	〈場 所〉	〈指導司祭〉
第1回	02年4月2日(火) ～ 3日(水)	イエズス会鎌倉修道院 (十二所)	奥村一郎神父様 了
第2回	02年6月24日(月) ～ 25日(火)	不二聖心会修道院 (裾野)	中川博道神父様
第3回	02年9月12日(木) ～ 13日(金)	イエズス会鎌倉修道院 (十二所)	中川博道神父様
第4回	02年12月10日(火) ～ 11日(水)	不二聖心会修道院 (裾野)	奥村一郎神父様

[イエズス会鎌倉修道院 黙想の家]

〒248-0001 鎌倉市十二所80

TEL 0467 (25) 1616

[不二聖心会 黙想の家]

〒410-1126 裾野市桃園198

TEL 0559 (92) 2120

連絡責任者

密本昌俊

TEL 045 (621) 5838

(〒231-0832 横浜市中区本牧緑ヶ丘77)

深みある生き方のために

— 愛と祈り —

私たちが忘れていた時も、神はひと時も忘れず私たちを見守り愛してください。この神の愛に応え、感謝し、祈る・・・。

一番大切なことなのに一番難しいこと。

私たちの一生の課題である“愛と祈り”について

3人の講師のお話をうかがいながら

少しでも神様に近づきたいと思います。



嶋本 操 (聖心会シスター)

6月29日

「愛したいが愛せない」「祈りたいが難しい」

この二つを一つの叫びとして受けとめてくださる神のもとに留まることに、祈りの心を探したい。

星野正道 (カメル会)

7月6日

「わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです」ヨハネの手紙I,4の19

この愛に触れる為の準備としての祈りを一緒に考え、実践してみましょう。

渡辺 和子 (ノートルダム修道女会員)

7月13日

一生かかって、愛の人、祈りの人になることを願う者にとって、それは、どのような日常の中で可能になるかについて考えてみたい。

時間 土曜日 午後1時30分～3時30分
 受講料 3回で3000円(1回のみは1200円)
 学生・聖職者・修道者は2割引になります
 会場 真生会館 学習センター
 (JR 信濃町駅下車1分)

前もって下記までお申込み下さい

財団法人 真生会館 学習センター
 〒160-0016 新宿区信濃町33番地
 TEL 03-3351-7123 (FAXも可)
 Eメールアドレス: sg-center@par.odn.ne.jp

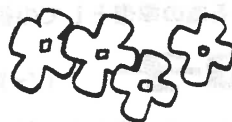
2002 カルメル会 黙想会

特別黙想会

2002年6月26日(水) 20時 ~ 28日(金) 15時

テーマ： 回心

- * 指導 カルメル会 新井延和師
- * 費用 ￥11,000
- * 最初の日の夕食をすませてから集合。どなたでも参加できます。



新井延和師プロフィール

1952年9月 和歌山で生まれる、1975年12月 プロテスタント教会で受洗、
1977年3月 東大法学部卒 その後、何度もインドを旅し、仏教の高僧の付けんを
半年ほどする、1985年3月 カトリックに改宗 カルメル会奥村神父に出会い、同
会に入会、1995年3月 司祭叙階



カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

TEL 03-5706-7355 FAX 03-3704-1764

手足萎え痛みに耐うる日々なるに

まだその上を望まれるや神よ

マリア安達留子遺稿集

萩の歌より



上野毛、宇治、大分

カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)

聖テレジア修道院 (黙想) は、カルメルの霊性を体験し深めたい方のためのものです。黙想会、研修会、練成会などに御利用下さい。個人でも団体でも御利用頂けますが、必ず事前に御連絡の上、お申し込み下さい。なお、詳しい御問い合わせは、下記へお願いいたします。

※☎158-0093

東京都世田谷区上野毛2-14-25

☎ : 03-5706-7355

FAX : 03-3704-1764

東急大井町線 : 「^{かしの}上野毛駅」下車徒歩7分

※☎611-0002

京都府宇治市木幡御蔵山39-12

☎ : 0774-32-7016

FAX : 0774-32-7457

京都駅よりJR奈良線 : 「^{六地蔵}六地蔵駅」下車徒歩15分

京阪バス : 六地蔵の町並バス停より^{御蔵山}御蔵山行きに乗り

「西住宅バス停」下車徒歩5分

※☎870-1152

大分市上宗方1800-3

☎・FAX共 : 0975-41-4012

大分駅～バスで18分、大分川を渡って^{明礮橋}明礮橋を右折

男子跣足カルメル修道会

お 願 い

投稿くださるときには、だいたい、次のようにしていただけますと幸いです。

1. 締 切 り 毎月10日
2. ①各グループの 目的 成いは 主行
②月間 或いは 年間予定：研修、黙想など具体的計画
③随想、こぼれ話など。「断想」「陽あたり」とか小題をつけて
④その他 自由ニュースをお送りください。
3. ワープロ。 なお、手書きの場合は早目にお送りください。
4. 原稿が長い場合、編集段階で選択したり、数回に分けて掲載させていただく場合があります。お赦してください。
5. 寄稿連絡は星野正道神父宛てにおねがいします。

・ニュース（霊性センターニュース）をご希望の方は 中尾豊子宛 に郵送御希望の月数分の220円切手又は現金を送ってください。（これには封筒代等が含まれています。）

中尾 豊子 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-15-5

☎045-941-3566

あ と が き

「霊性センターニュース」も奥村神父様の時代以来、常に変わらぬご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。今後もこの小さな種が皆様の暖かなご協力のもとに、すこやかに成長していくようお祈りください。

なお、“一口一円”の呼びかけで始まった献金も、神様の御手の中で大きな助け手、働き手となってきています。ご協力、本当にありがとうございます。

喜びと悲しみ、日々の小さなことがらを通してイエス様が働きかけ、共に生きてくださいますように、お祈りいたします。

カルメル会霊性センター

星 野 正 道

小説の分類

小説の分類は、その内容、形式、時代などによって異なる。現代小説は、社会主義的、人道主義的、自然主義的、心理主義的など、多岐にわたる。また、その形式によっても、長篇小説、中篇小説、短篇小説、戯曲など、分類される。本書では、これらの分類について、詳しく解説する。

本書は、小説の分類について、詳しく解説する。また、その歴史や発展についても、詳しく解説する。本書は、小説の分類について、詳しく解説する。

昭和十一年四月二十日出版 昭和十一年四月二十日出版 昭和十一年四月二十日出版

小説の分類

小説の分類は、その内容、形式、時代などによって異なる。現代小説は、社会主義的、人道主義的、自然主義的、心理主義的など、多岐にわたる。また、その形式によっても、長篇小説、中篇小説、短篇小説、戯曲など、分類される。本書では、これらの分類について、詳しく解説する。

著者 野村胡堂
編者 野村胡堂